

研究機関名：仙台医療センター

受付番号：
研究課題名 抗凝固薬服用者における内視鏡治療偶発症の後方視的検討
研究期間 西暦 2017 年 5 月(倫理委員会承認後) ～ 2017 年 7 月
研究責任者 消化器内科医師 岩渕正広
研究の意義、目的 胃や大腸の内視鏡治療を受けた方のうち抗凝固薬を内服していた方の出血や血栓症などの頻度をカルテから調査します。 抗凝固薬服用の内視鏡処置に及ぼす影響が解明できれば、将来的に、経口抗凝固薬休薬による合併症の頻度や、内服継続による消化管出血の頻度を軽減できる可能性があります。
対象 <input type="checkbox"/> 病理組織(対象臓器名 ) <input type="checkbox"/> 生検組織(対象臓器名 ) <input type="checkbox"/> 血液材料(対象臓器名 ) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (患者さんのカルテ ) 上記の採取期間 西暦 年 月 ～ 年 月 採取場所 ○○科
研究方法 2015 年 1 月から 2016 年 12 月までの 2 年間に当院消化器内科で消化管内視鏡治療 (大腸ポリペクトミー及び胃内視鏡的粘膜下層剥離術) が受けた方のなかで下記の抗凝固薬を内服していた方の、年齢・性別・抗凝固薬の種類・併用した抗血小板薬・既往症、薬剤の休薬期間と再開時期・後出血や血栓症など偶発症の有無等をカルテから調査します。この調査のために新たに検査を追加したりすることはありません。また、個人情報の機密を確実に守るため、上記治療を受けた方のお名前をはじめとして、直接的に個人を特定可能にするその他の情報が報告書に記入されたりすることはありません。  ワルファリン (ワーファリン <sup>®</sup> ほか)、ダビガトラン (プラザキサ <sup>®</sup> )、リバーロキサバン (イグザレルト <sup>®</sup> )、アピキサバン (エリキュース <sup>®</sup> )、エドキサバン (リクシアナ <sup>®</sup> )
参考事項 なし
問い合わせ及び苦情等の窓口 仙台医療センター 消化器内科 岩渕正広 (代表研究者) 〒 983-8520 仙台市宮城野区宮城野 2-8-8 電話 022-293-1111 ファックス 022-293-1154  ※研究に利用されたくない場合には、上記窓口までご連絡願います。